

28.うつもちの里保全の会（神奈川県藤沢市）

- 本地域は、古くから農業基盤整備を中心にまちづくりが進められてきた地域であるが、農業者の高齢化や担い手不足などにより、老朽化が進む農業用施設の保全管理が課題となっている。
- 水利組合等が主体となり、地域ぐるみの共同活動により農業用施設の良好な保全管理に取り組んでいる。
- 地域住民との交流活動として、小出川堤塘敷きに彼岸花を植栽するなど、地域の良好な景観形成に取り組んでいる。

【地区概要】平成20年度開始

- ・取組面積 28.41ha
(田 19.19ha、畑 9.22ha)
- ・資源量 用水路 0.8km、パイプライン 1.5km、ポンプ場4箇所、農道 11.5km
- ・主な構成員
農業者
非農業者(自治会等)

- 農地維持支払
- 資源向上支払(共同)
- 資源向上支払(長寿命化)

地域の現状



地域資源の適切な保全の方向性についての話し合い

- 活動開始前から用水組合が取水門や用排水路の掃除、点検補修等を行っていた。
- 維持管理費用は、市の補助があったものの、農業者の持ち出しも多々あり、厳しいこともあった。
- 地域の様々な団体による地域の環境保全活動があった。

取組の内容



用水路の泥上げ

農道の清掃



- 地域ぐるみで水路、農道周辺の点検、草刈り、簡易な補修等を行った。
- 景観形成及び地域住民との交流の取組として、小出川堤塘敷きに彼岸花を植栽した。

取組の効果



地元の小学校と連携した収穫体験活動

農道を彩る彼岸花の植栽



- 米作が盛んな地区内の用水路の維持管理を図り、中心経営体の農作業の軽減と地域の環境保全に努めている。
- 今後、自治会や近隣の小学校と連携し、農業に対する理解を深めるための活動も取り入れていく予定である。